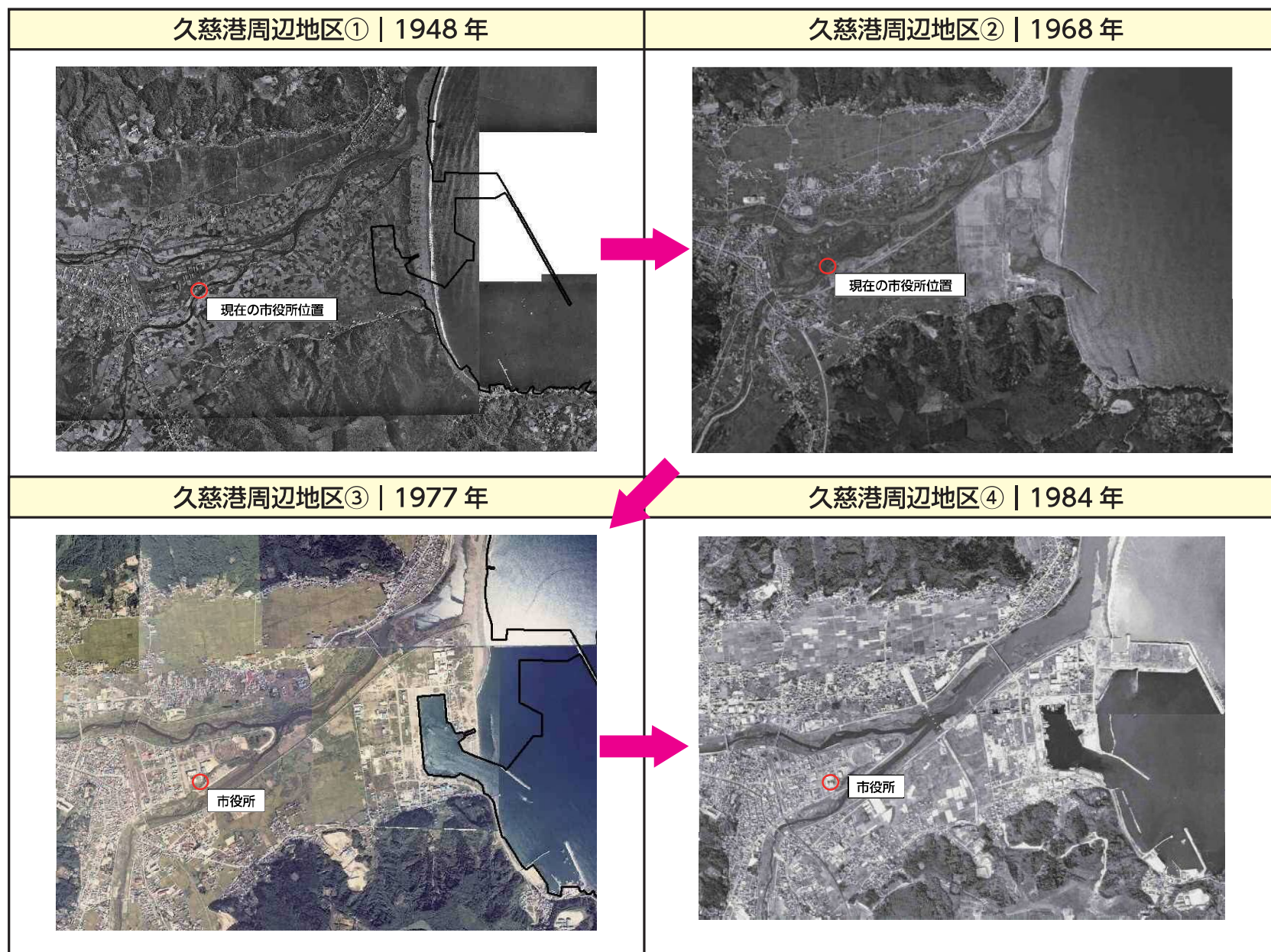


久慈港周辺の状況

久慈港周辺の土地の変遷

久慈港周辺地区の土地利用の変遷は下図のような状況です。

1948年頃までは久慈川下流域に耕作地が広がっていますが、1968年頃から津波リスクが高い久慈港沿岸地域に市街地形成や久慈港埋立工事が行われ、1984年には国道45号の建設等、市の骨格が形成されています。



【出典】国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」よりダウンロードした写真画像を加工して作成

久慈港周辺の表層地質

久慈港周辺地区の表層地質は図に示すとおり、泥岩、砂岩などの固結堆積物や花崗岩質岩石などの深成岩により構成されています。

また、久慈川、夏井川、長内川流域には、未固結な砂礫層が堆積しており、これらの地質は周辺の地形に比べ、地震に対して揺れやすく、液状化しやすい特性を有しています。



【出典】国土地理院